



「石を穿つ(うがつ)雨だれになりたい」

校長 藤田 賢一郎

9日の全校朝会で、生徒に、次のように語りかけました。

今流れているのは、作曲家・ピアニストの星野希望(のぞみ)さんが作詞・作曲・弾き語りしてYouTubeで公開している曲「ひかり」です。

「石を穿つ(うがつ)雨だれになりたい」この言葉は、希望さんがSNSで発したツイートです。「穿つ」は、穴を開けるという意味。軒先から落ちる雨だれでも、長い間、石の上に落ち続けることで、固い石に穴を開けてしまう事から「雨だれ石を穿つ(うがつ)」という故事成語となっています。興味のある人は詳しく調べてみてください。

希望さんご自身を「寝たきりピアニスト」と名乗っています。かつて看護師として働いていた希望さんは、交通事故をきっかけに、脳脊髄液減少症という難病を発症し、数年たった現在も24時間寝たきり生活を送っています。希望さんのインスタには、脳脊髄液減少症について、「横になっていても激しい頭痛、めまい、聴覚過敏、耳が詰まった感じ(ずっとトンネルに入っているような)、両耳の痛みと不快感(ものを飲み込むたびに鼓膜がポコポコという)、音が響くので耳栓をして生活をしている。光過敏(スマホの光などがまぶしい。長時間見られない)、疲れてくると目が開かなくなる、頭の圧迫感、猛烈な吐き気、首の痛み、脊髄全体に沿った痛み、首や肩の異常な締め付けやコリ、そして肩が勝手に上がってきてこわばっているのが普通の位置に肩がない。呂律が回らない。舌がよじれて口から突き出ではみ出している…」とあります。壮絶な苦しみが想像できますね。

希望さんの、音楽に対するブログの一部を抜粋して紹介します。ある音楽講師が、私に、「小さい頃からピアノを続けていれば作曲家になれたかもしれないのにね」まるで、もう手遅れかのように言いました。しかし私は思いました。やりたいと思ったことを始めるのには遅すぎることではない。

音楽を学び続けることが出来るような恵まれた環境にいないの方が、世の中多いと思います。音楽を本気で学ぼうとするとお金がかかります。

お嬢様じゃない私はそういった環境にいなかったのですが(家にピアノが無かったので昔は音楽室の

ピアノで練習していた)、それでも音楽に対する思いは人一倍あります。それも、今苦しんでいる脳脊髄液減少症という病気で寝たきりになったことをきっかけにです。音楽の持つ力に魅了されたからです。

病の苦しさから生きる事を諦めようとした時、そこから救ってくれたのが音楽でした。音楽は「音を学ぶ」音学ではなく、「音を楽しむ」と書きます。

私は音を楽しむ音楽を力のある限り、可能性のある限り、これからもたくさん作っていきたいと思っています。

そして曲を聞いてくださった皆様が、なんだか落ち着くなあとかなんだかほっこりするなあと少し癒されたなあとか…そういう温かい気持ちになっていただけなのが一番の私の喜びです。

作曲家になる夢も、音楽家になる夢も、演奏家になる夢も、一生持ち続けて叶えたいと思います。そして聴いてくださる方々も嬉しい気持ちになれ、演奏する方も嬉しい気持ちになれる。

そういった温かい音楽を作り続けていきたいと思っています。

…そしてこのブログの冒頭で紹介したことわざ、「雨垂れ石を穿つ」…のように、石を穿つ「雨だれ」に私はなりたいです。

新年度が始まって2カ月たちました。4月、中学生になったとき、中堅学年になったとき、最上級生になったときに決意したけれど、あきらめようとしている挑戦や努力はありませんか。

新型コロナウイルスによって制限されていることが、まだまだ多い現状ですが、皆さんは、コロナウイルスに屈することなく何事にも粘り強く取り組み、成長を続けるすばらしい一人一人、そして、すばらしい集団です。体育祭も大成功でした。みなさんには、挑戦や努力を続ける力、可能性があります。学習でも、生徒会活動でも、部活動でも、仲間と支え合いながら、「石を穿つ雨だれ」のように、こつこつ努力を続ける、頑張り抜く、みなさんの熱い姿を期待し、応援しています。

困難を乗り越え、頑張ろうとしている板中생을頼もしく思いながら、指導・支援に努めています。引き続きご支援をお願いします。

新時代の輝き！ 一学期体育祭大成功



例年、2学期の最初に実施していた体育祭を、今年度から1学期の6月実施に変更しました。体育祭実行委員やリーダーを中心にどの軍もよくまとまり、種目練習 や応援練習に意欲的に取り組んできました。そして、昨年度のコロナウイルス禍での新しいスタイルの体育祭を、今年はさらに発展させようと、リーダーたちの強い決意の感じられた体育祭でした。各軍とも一致団結して、生徒たちのキラキラとしたはじける笑顔を見ることができました。

様々な制限のある状況下でも、それぞれの役割を果たし、体育祭を成功できたことは、生徒の達成感につながるとともに、今後の学校生活にも生きてくることと思います。体育祭の振り返りでは、自分の掲げた目標や、仲間の頑張りなどへの評価を行い、体育祭で経験したことを次に活かしていきます。



成長の軌跡 体育祭を振り返っての感想

【1年生】

- ・ 体育祭を通して、みんなで協力し教え合うことができた。(HK)
- ・ 初めてで不安だったけど先輩がやさしく声をかけてくれた。(KR)
- ・ 練習の成果を精一杯発揮したことで、みんなと絆も深まり、思い出に残る体育祭になった。(KH)

【2年生】

- ・ 体育祭で、軍全体で協力したことで、クラスの団結力も強くなった。(OH)
- ・ 先輩・後輩と一つの体育祭を作り上げることができた。涙もあって全力でがんばったと思った。(KU)
- ・ 体育祭を通してたくさん声をかけあい、仲良くなることができた。(SA)

【3年生】

- ・ 協力すれば1人のときの何倍もよいものができる。学年をこえて絆も深まった。(KM)
- ・ 応援合戦のときに、歓声がきこえて感動した。(HS)
- ・ 最後の体育祭は、中学校の体育祭で一番楽しかった。(SA)

体育祭 保護者の方々のご協力ありがとうございました

昨年度同様に、保護者の皆様から朝早くからお集まりいただき、テント設営と、生徒が作ったパネルの取付・展示のお力添えをいただきました。また、体育祭後には、生徒用テント、パネル取り付け用の枠などの片付けも合わせてお手伝いいただき、保護者の方々のパワーを生徒たちに伝えることができたように思います。体育祭の準備・片付けに対して、延べ100名以上の方からお手伝いいただき、スムーズに体育祭を開催することができました。深く感謝申し上げます。



《6月のおもな出来事》

6月13日(月) 地区大会壮行式



15日から行われる「上越地区大会」の壮行式が行われました。吹奏楽部の演奏で各部の入退場が行われ、式を大いに盛り上げてくれました。また、各部の代表が、7月に行われる県総体へ向けて決意を述べました。また、生活文化部のみなさんが、各部の健闘を祈る「大会応援ポスター」を制作して廊下に掲示してくれました。各部の皆さんが、自分の持つ力を十分に発揮できるよう応援しています。



《 栄光の記録 》

第 72 回 上越地区陸上競技大会

令和 4 年 6 月 15 日・16 日

男子 110mH 1 位 3 年 NH

男子走高跳 1 位 3 年 SR

7 位 2 年 OR

男子走幅跳 8 位 3 年 MJ

女子 100m 2 位 3 年 HI

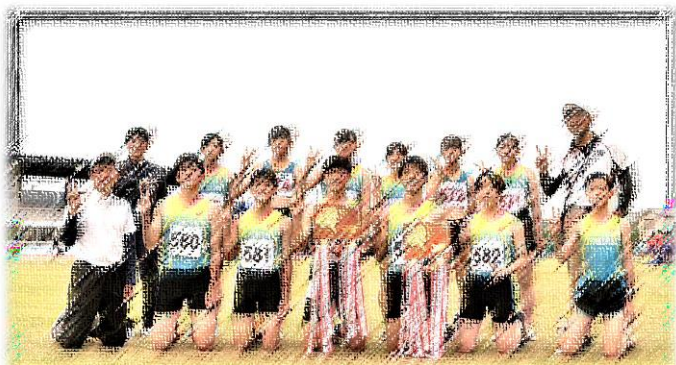
女子 100mH 3 位 2 年 KY

女子 200m 6 位 3 年 HI

女子砲丸投 8 位 3 年 KN

女子 4×100mR 3 位 K (2 年)・H (3 年)・S (3 年)・I (2 年)

男子 4×100mR 8 位 M (3 年)・H (3 年)・N (3 年)・S (3 年)



《 7 月のおもな予定 》

1 日	(金)	通信陸上大会(新潟市～2日まで) テスト前部活動なし 質問教室	16 日	(土)	新潟県総体(～18 日まで)
4 日	(月)	2 年生 生活習慣病予防教室	19 日	(火)	生徒下校 17:15
6 日	(水)	第 1 回定期テスト①	20 日	(水)	生徒下校 17:15
7 日	(木)	第 1 回定期テスト② 5 限後下校	21 日	(木)	中井 SC 訪問日
12 日	(火)	学校保健委員会	22 日	(金)	1 学期終業式 部活動なし
14 日	(木)	2 年生 人生の先輩に学ぶ会	25 日	(月)	1 学期期末面談・三者面談 (～28 日まで)

※ 予定は変更することがあります。あらかじめご了承ください。